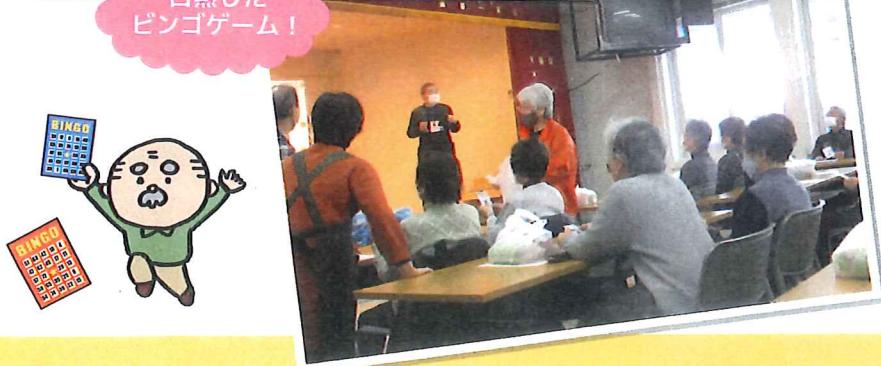
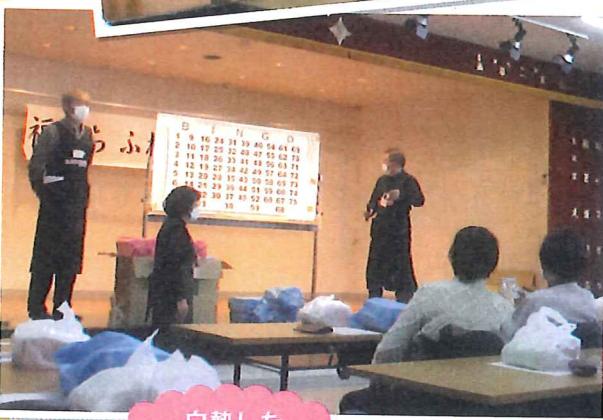




北白石地区の「新春の集い」を見学してきたまも！

令和5年2月3日(金)に北郷瑞穂会館で、満70歳以上の単身高齢者を対象に、北白石地区福祉のまち推進センター主催の「ふれあい新春の集い」が3年振りに開催されました。

当日は、「南京玉すだれを楽しむ会 はっぴいマザー」様による、南京玉すだれが披露されました。掛け声に合わせて手拍子をして、技が決まる度に歓声があがりました。その後、bingoゲームもあり、会場が一体となって盛り上りました。



北白石地区交通安全母の会斎藤会長より、家族が出かけるときには、「気をつけてね」と一言声をかけてあげることで交通安全への意識が変わります、お互いに声をかけあって交通事故に合わないよう気をつけましょう、というお話があり、参加者へ夜光反射材が配布されました。



シリーズ 福まちかわら版

札幌市では、市民の方々による自主的な福祉活動を行う組織として、地区社会福祉協議会（概ね連合町内会）ごとに「地区福祉のまち推進センター」が設置されており、白石区内には8カ所あります。福祉のまち推進センターでは、誰もが住み慣れた地域で、安心して住み続けられるよう福祉のまちづくりを進めています。

今年度の各地区福祉のまち推進センターの取組みをシリーズでご紹介いたします。

白石東地区 「災害時要配慮者避難支援事業研修会」



白石東地区社協では、毎年「災害時要配慮者避難支援事業研修会」を開催しており、今回で8回目となる研修会が令和5年2月16日（木）に白石東会館にて開催されました。今回は、「災害時、自助・共助で支え合うには」というテーマのもと、就労継続支援B型事業所「ここりカ・プロダクション」の橋本達志管理者の進行で、「自助」を意識するための個人演習を行いました。災害に向けた備えや、災害が起きた際に最初にやること・心配なことなどを考え、数人から発表をいただき参加者で情報共有を行いました。また、本会の事務局次長の柳から「災害ボランティアセンターの役割と地域の受援力」というテーマで講演を行いました。地域の実情を良く知る町内会長や町内会役員の皆さんに、ボランティアと地域との顔つなぎをしていただくことが、住民の安心感につながり、ボランティアも活動しやすくなることなどをお伝えさせていただきました。

菊の里地区

「子育てサロン “わくわくポケット”」 クリスマス会

令和4年12月16日（金）に菊水元町地区センター多目的ホールにて子育てサロン「わくわくポケット」クリスマス会が開催されました。

当日は子育て中のお母さんが中心となって活動している、マミーズプラスさんによる音楽会で「アンパンマンのマーチ」や「クリスマス・ディスコ・キャロル」などが演奏され、「おどるポンポコリン」では、白石区のマスコットキャラクターしろっぴーも登場するなど、親子で楽しめる内容となっていました。



白石区・地区福祉のまち推進センター活動交換会

新型コロナウィルス感染症の影響により、感染対策を意識した生活が続いているが、各地区福祉のまち推進センターや町内会などにおいて、様々な工夫を凝らして交流会や研修会などの行事やサロン活動などが再開されております。そこで徐々に高まってきた地域での福祉活動再開の機運を今後さらに高めていくために、令和4年12月8日(木)に白石区民センター区民ホールで「白石区・地区福祉のまち推進センター活動交換会」を開催し、128名の方に参加いただきました。

当日は、北海道医療大学大学院看護福祉学科研究科の石角鈴華講師から「感染予防に配慮した地域のつながりについて」というテーマで、医学的な見地に基づいた感染予防対策に加え、コロナ禍における地域のつながりの在り方についてお話しいただきました。また、本会から、令和4年度に各地区福祉のまち推進センターで実施された交流行事について紹介させていただきました。

参加者からのアンケートからは、「交流行事を開催していいのか迷っていますが、石角先生のお話を聞いてフレイル予防の観点からも交流行事の開催を前向きに検討していきたい」などの感想がありました。



石角先生の講演資料の一部抜粋

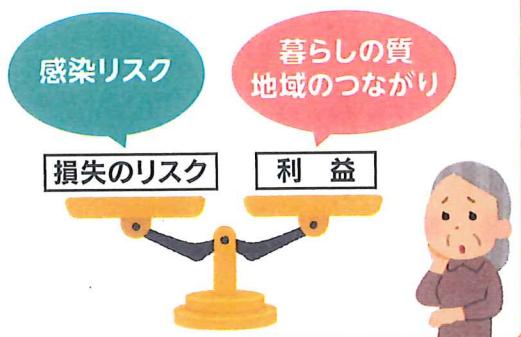
● 感染経路を遮断する感染対策

- ①自宅外で、誰かの2m以内に近づくときはマスクをする
- ②室内をこまめに換気する
- ③人が集う場所は、可能な限り、窓のある広い部屋を
- ④集合人数を減らす(=密集しない)
- ⑤手を洗う、あるいはアルコールで消毒する
- ⑥手が触れる場所は、定期的に汚れを拭きとる



● 感染リスクを評価して事業開催の意思決定を行う

- ①事業のねらい・意義、目標を考える
何を目的にした事業か。今、やることの必要性は?
- ②感染リスクを評価する
飛沫・エアロゾル・接触の3つの感染経路ごとにリスクを評価。
その合算で総合的な感染リスクを評価する。
- ③感染対策によりリスクを軽減することができるかを検討する
- ④感染リスクと事業のメリットのバランスで開催の有無を判断する



介護タクシーあゆみ

障がい者手帳提示で1割引。女性スタッフ対応可能。



代表 奈良 幸崇

- ・ホームヘルパー2級
- ・全身性・視覚障がいガイドヘルパー
- ・患者等搬送乗務員適任証(札幌市消防局)

日曜定休 事前予約のみ対応いたします。
買い物代行等承ります。

予約受付 7:00~19:00

営業時間 8:00~18:00



ストレッチャー・フルリクライニング
車椅子、酸素ボンベ常備しています。



ご予約・お問い合わせは

携帯電話 080-2873-7173 電話 011-557-3772

〒003-0834 札幌市白石区北郷4条5丁目2-24 合同会社あゆみ E-mail:jndxc974@yahoo.co.jp



北海道運輸局許可事業
北自旅第237号
全国介護タクシー協会会員
総合賠償責任保険加入

白石区ボランティア



白石区ボランティア連絡会とは…

区内のボランティア関係者が相互交流や情報交換等を強化することにより、ボランティア層の拡大や活動の推進を図り、地域福祉の向上を目指すことを目的として平成6年に設立されました。

会員個々のボランティア活動をはじめ、連絡会としてボランティアの相互交流・情報交換や資質向上のための研修会を開催するほか、月に1度ランチサロンや子ども食堂を開催しています。白石区ボランティア連絡会へ加入を希望される方は、白石区社会福祉協議会までご連絡ください。



第10回 ボランティアの集い&サロン活動者交流会

令和5年2月27日(月)に白石区ボランティア連絡会・白石区社会福祉協議会共催で「第10回ボランティアの集い&サロン活動者交流会」を開催しました。平成22年より白石区ボランティア連絡会が主催している「ボランティアの集い」が記念すべき第10回を迎えました。

第1部では、impサポートセンター代表の伊藤幸咲講師より「安心してボランティアやサロン活動に取り組むために」というテーマでお話いただきました。第2部では白石区ボランティア連絡会の活動報告、第3部ではミニコンサートとして、「日沼史洋氏とオカリナレインボー」よりビートルズナンバー等を演奏していました。



**訪問看護（市内広域）
定期巡回介護看護（白石）**

床ずれが怖いけど家族でも全身を確認できないので定期チェックを…などお悩みはございませんか？ご相談ください。

- 訪問看護事業所 さくら訪問看護ステーション
- さくら定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

訪問診療（市内広域）・在宅復帰のご相談・外来送迎対応

通院が出来ず家族送迎も困難に…等お悩みはございませんか？医師、看護師が自宅へ定期訪問、安心して受診や医療相談をする事ができます。

- 在宅療養支援診療所 さくら内科クリニック
- 総合相談窓口 在宅復帰支援センター

訪問歯科・口腔ケア（市内全域・石狩江別）・一般外来

肺炎を予防したい…食事量が減った…等お悩みはございませんか？歯科医師、歯科衛生士が自宅へ訪問、口腔内検診、外来同等の治療、口腔ケアが可能です。

- 在宅療養支援歯科診療所 さくら歯科クリニック
- 在宅療養支援歯科診療所 Dental Office さくら